

ユーザー心理を利用し、巧妙になる脅威

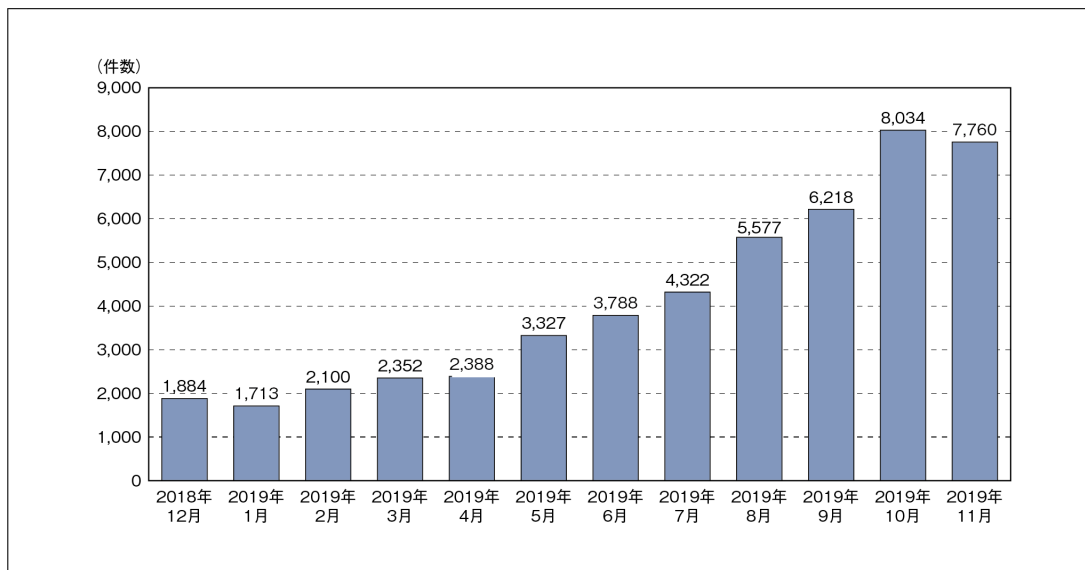
資料 4-4-1 「情報セキュリティ 10大脅威 2019」

昨年順位	個人	順位	組織	昨年順位
1 位	クレジットカード情報の不正利用	1 位	標的型攻撃による被害	1 位
1 位	フィッシングによる個人情報等の詐取	2 位	ビジネスメール詐欺による被害	3 位
4 位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	3 位	ランサムウェアによる被害	2 位
NEW	メール等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	4 位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃の高まり	NEW
3 位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	5 位	内部不正による情報漏えい	8 位
10 位	偽警告によるインターネット詐欺	6 位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	9 位
1 位	インターネットバンキングの不正利用	7 位	インターネットサービスからの個人情報の窃取	6 位
5 位	インターネットサービスへの不正ログイン	8 位	IoT 機器の脆弱性の顕在化	7 位
2 位	ランサムウェアによる被害	9 位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	4 位
9 位	IoT 機器の不適切な管理	10 位	不注意による情報漏えい	12 位

出典：情報処理推進機構（IPA）

フィッシングサイトに誘導される利用者数が急増

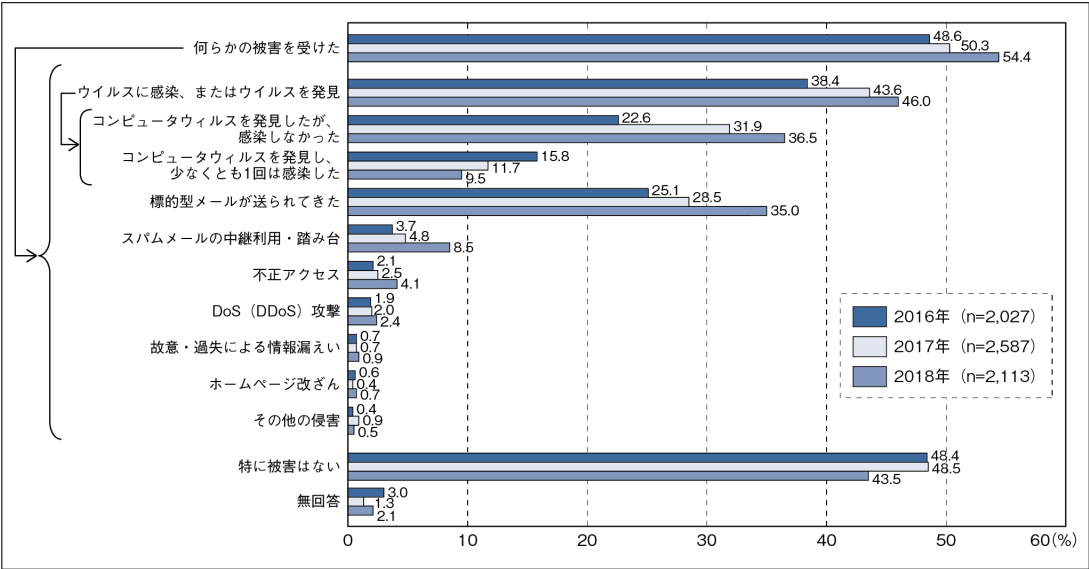
資料 4-4-2 フィッシング報告件数（2018年12月～2019年11月）



出典：フィッシング対策協議会

増加傾向にある企業でのセキュリティ侵害

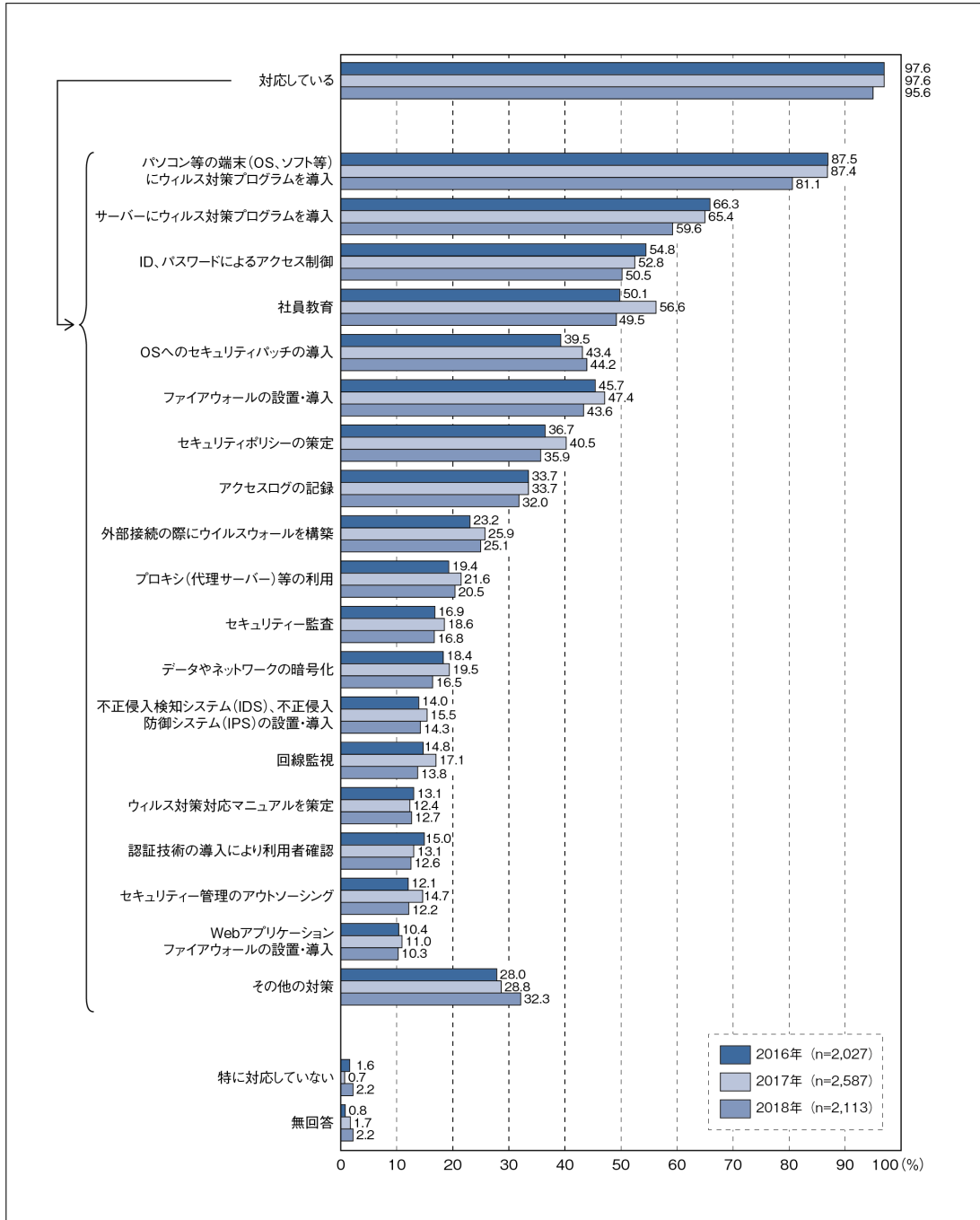
資料 4-4-3 企業における情報通信ネットワーク利用の際のセキュリティ侵害(複数回答)



出典：総務省「平成 30 年通信利用動向調査」

企業の基本的なセキュリティ対策は進む

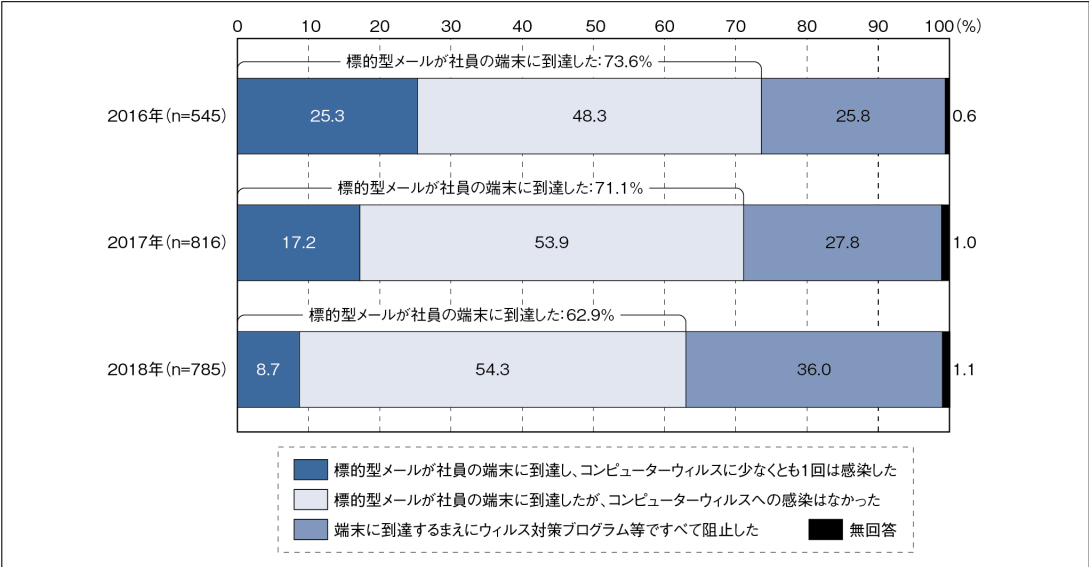
資料 4-6-4 データセキュリティへの対応状況 (複数回答)



出典：総務省「平成30年通信利用動向調査」

標的型メールの抑止効果は見られるものの、いまだ完全ではない

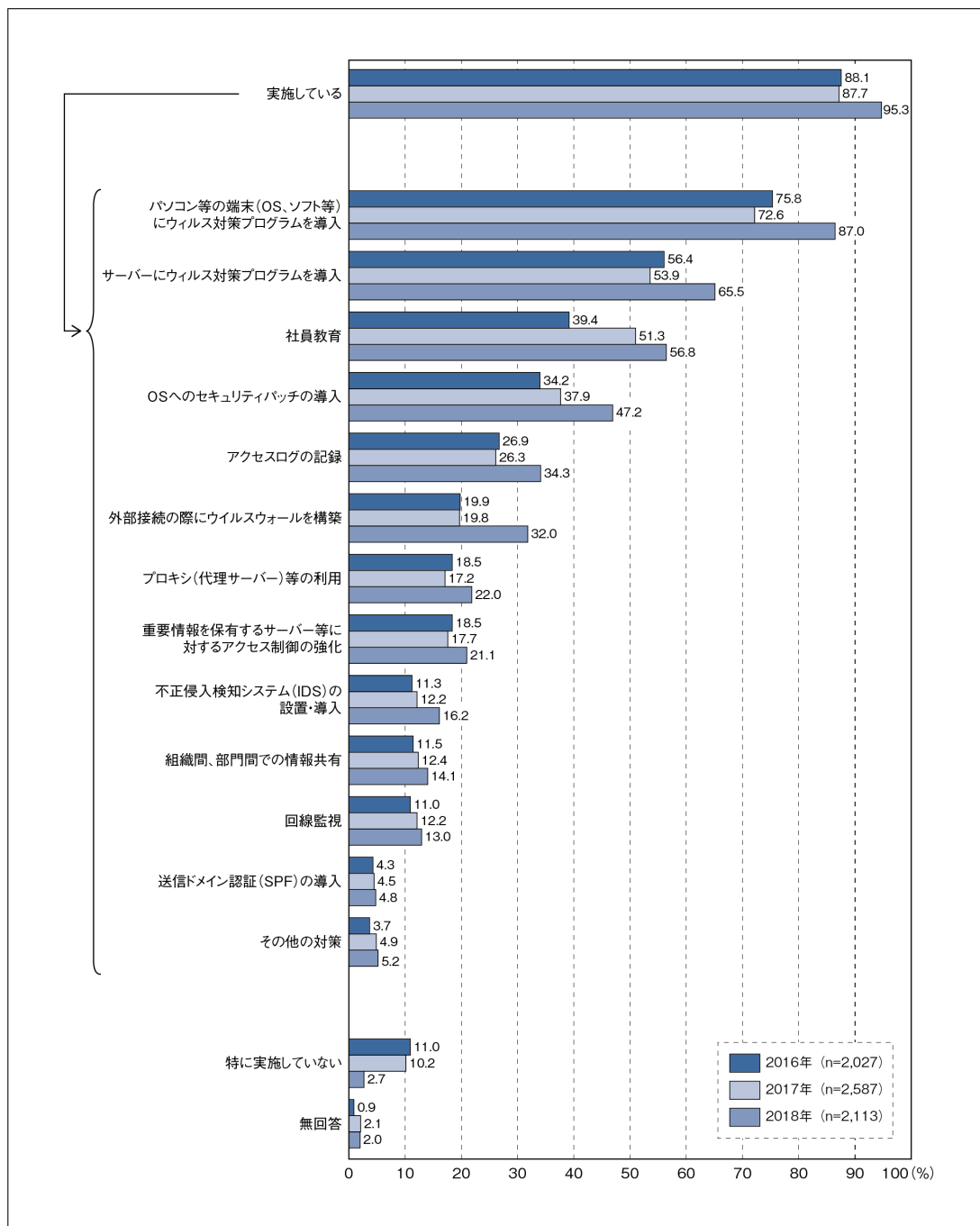
資料 4-4-5 標的型メールの被害状況の推移



出典：出典：総務省「平成30年通信利用動向調査」

標的型メールの阻止対策も進みつつある

資料 4-4-6 標的型メールへの対策内容の推移



出典：総務省「平成30年通信利用動向調査」



1996, 1997, 1998, 1999, 2000...

[インターネット白書ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2020年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<https://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp

©1996-2021 Impress R&D